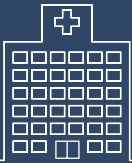


八鹿病院 ニュース



2012年
11月号



地域に暮らす人々と共に
心あたたかな医療をすすめたい



前列左から岡本医師・尾崎医師・加須屋医師・
クラーク・歯科衛生士の歯科口腔外科チーム

● yoka hospital 「医療」

歯科口腔外科

- 患者会・教室の輪っか「すずらんの会」
- 看護部だより「新人ナース研修」
- トピックス
- 医師異動のお知らせ

公立八鹿病院基本理念

私たちは、地域中核病院として、
医の倫理を基本に、質の高い医療
と優れたサービスをもって、住民
の健康を守り、地域の発展に尽く
します。



当院は敷地内全面禁煙です
ご協力宜しくお願い致します

歯科口腔外科

当院歯科口腔外科では

当科では、虫歯や歯周病などの一般歯科治療をはじめ、親知らず（智歯）など抜歯が難しい歯の手術や、良・悪性腫瘍、歯槽膿瘍や顎関節症など、歯や顎骨、口腔内に生じるさまざまな疾患の治療に取り組んでいます。これらの疾患に対し、適切な治療法を患者さんの希望に添って決定し、患者さんが納得した上で治療を行うよう心がけています。

また、虫歯や歯周病、外傷などで歯を失ってしまった患者さんにも、食事を快適に行っていたら

当院の歯科は平成24年4月より歯科口腔外科として生まれ変わりました。歯科口腔外科となることで患者さんへの治療の幅も広がっており、様々な治療に取り組んでいます。

おかもと ひではる
歯科口腔外科 岡本 秀治

ためのインプラントや歯牙移植などの再生治療に力を入れて取り組んでいます。

「歯牙移植」 自分の歯で快適な食事を

歯を無くした場合の治療法「ブリッジ」「入れ歯」

歯を失ってしまった場合、みなさんはどんな治療をされてきましたか？

従来の治療法として、無くなった歯の両隣の歯を削ってブリッジ（金属冠）を作製する方法や、

入れ歯を作製する方法があります。しかし、ブリッジでは健全な歯を削らなければならず、また、両隣の歯の状態によっては行えない場合もあります。入れ歯は咬む際に動いて、快適な使用感が得られず、取り外して清掃するという煩わしさも伴います。

自分の歯の様な「インプラント」

人工の歯根（インプラント）を埋め込みその上に人工の歯を被せて咬み合わせを回復させるインプラントという治療法もあります。インプラントは歯のない部分の歯槽骨に埋入するため、ブリッジの



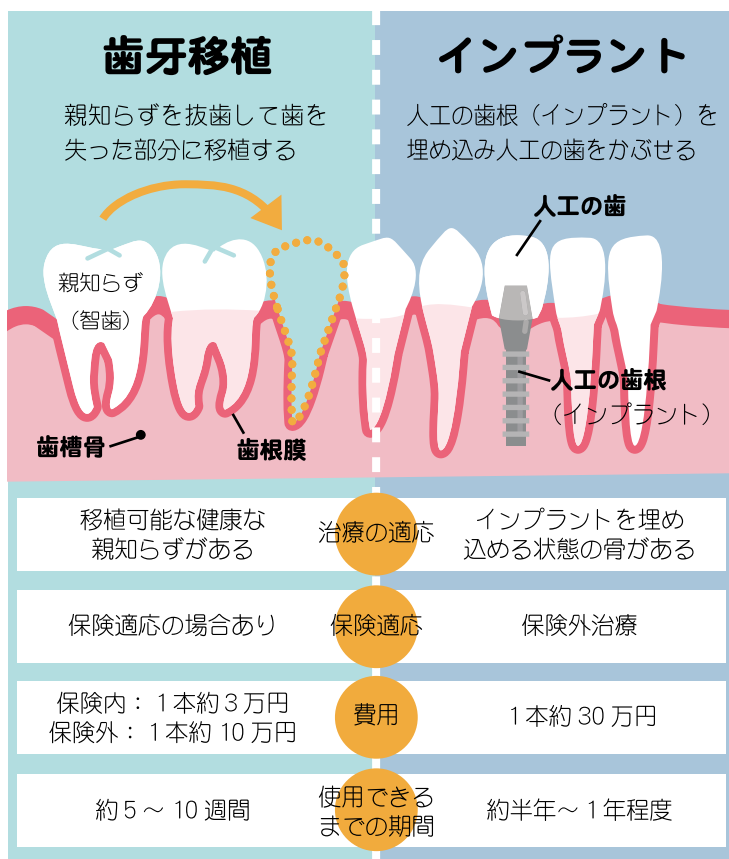
よつに他の歯を削る必要はなく、自分の歯とほぼ同様に咬める、外觀が自然であるといった優れた点があります。しかし欠点もあり、歯として使用できるまでに時間がかかります。根の部分となるインプラントは埋め込んでから周りの骨と結合するまでに、下顎では約1〜3か月、上顎では約3〜6か月かかります。その期間が終わってから歯冠部分の作製にかかるので、歯として使用できるまでに半年から1年程度かかります。さらに、保険がきかないこともあり、当院では最終的に使用できるまでに1本約30万円の費用が必要となります。欠損している歯の数、欠損している部位によっても必要な本数が変わってきます。また、インプラントを埋め込む前段階での付随処置が必要となる場合もあります。

自分の歯を移植「歯牙移植」

では、インプラント以外に歯牙の欠損を再生する治療法はないのでしょうか？

インプラントは外観も自然で、

自分の歯の様に食事をする事ができます。しかし、「自分の歯で咬める」ということが一番であるということは言うまでもありません。歯が欠損した部位で「自分の歯で咬む」ということを可能にする



※歯の状態により歯牙移植またはインプラント治療ができない場合もあります。

※治療内容により費用が異なる場合があります。

天然歯の再生力を利用する

る治療法、それが歯牙移植です。

あまり知られていない治療法ですが、具体的には親知らずを歯牙

欠損部位に移植する治療法です。患者さんが最初にインプラントを希望されて来院した場合でも、まだ親知らずが残っているか、歯牙移植が可能かどうかを同時に調べ、可能な場合には歯牙移植とい

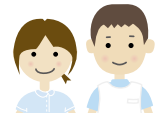
う選択肢を患者さんに提示していただきます。その理由は、インプラントの利点に加え、天然歯であればインプラントにはない歯根膜という膜が存在するからです。その歯根膜には再生する機能、感覚を司る

機能、そして、常に新しい組織に置き換わる機能があります。これはインプラントと天然歯の大きな違いになります。

また、抜歯したその日のうちに親知らずの移植を行えば保険適応となり、保険外となっても、インプラントに比べ比較的安価で治療を行うことができます。自分の歯としてしっかり使用できるまでの期間も、インプラントの半年〜1年程度に比べ、5〜10週間と短い期間で自分の歯として使用していただけます。

もしかしたら皆さんの口の中に残っている親知らずが今後活躍できることがあるかも知れません。健康であるためには健全な口腔環境が必要です。皆さんにとって食事が快適に、そして楽しいものとなるようこれからもお手伝いしていきたいと思えます。





当院看護部独自の教育体制で生まれたての看護師を育てる

新人ナース教育

脈が触れたり呼吸音・腸の動く音が聴取できる
モデル人形「フィジ子」で呼吸音を確認中。



看護学校で修得した知識を紐といています。



モデル人形を使用してBLS（一次救命処置）
研修中…復活しました！

医療・社会のニーズに
対応できる人材を育成

医療の高度化や在院日数の短縮化、医療に対する国民のニーズの変化等を背景に、看護師の臨床現場で必要とされる臨床実践能力は複雑多様化しています。

当院の看護部では、看護・介護の質の向上を図り、変革する医療や社会のニーズに対応できる人材を育成するため、学校卒業後の継続教育・経年別教育として教育委員会を中心に卒後1年目から4年目コース、スキルアップコース、介護コース、看護研究コース等の各コースを設け、コース別担当者が研修企画から、運営、評価まで行っています。

平成22年4月から新たに、看護職員の臨床研修が努力義務化となり、今までの新人研修を更に充実させるように取り組んでまいりました。研修体制の整備として、新人看護職員研修責任者1名、新人研修担当を5名配置しました。各部署では新人看護職員を支える環境として、新人1名につきアシエ

看護師新人研修 年間スケジュール

- 4月 ● 入職
 - ・全体オリエンテーション
 - ・患者の権利と看護者の責務
 - ・看護者の倫理綱領・接遇
 - ・医療安全・個人情報
 - ・記録・電子カルテ操作
 - ・感染対策・技術
- 5月 ● 褥瘡処置・ポジショニング
 - ・ME 機器の取り扱い
 - ・与薬－麻酔の取り扱い・インスリン
- 6月 ● 放射線の特性と被曝の防止
 - ・夜勤見学
 - ・BLS（一次救命処置）研修
- 7月 ● 人工呼吸器について
 - ・看護過程
- 8月 ● 輸血について
 - ・多重課題
- 9月 ● 地域連携について
 - ・コスト管理・経営について
- 10月 ● 医療安全－新人がおこしやすいミス－
 - ※院内留学
- 11月 ● NST について
 - ※院内留学
- 12月 ● 認知症ケア
- 1月 ● 緩和ケア・エンゼルケア
- 3月 ● 1年の振り返り

卒後2年目研修へ



臨床工学技士による人工呼吸器操作の講義。難しかったです。



“採血モデル”を使っでの採血実施中。うまくいきました。



多重課題

場面を設定して看護師役・患者役を体験しました。緊張状態でした。

みんなで頑張っています
よろしくお祈りします！



現在、新人研修中の看護師1年生

イト（看護技術面の指導者）とエルダー（メンタル面の支援者）の2名を担当者として、新人が職場環境に1日も早く馴染み、看護技術を取得できるようにサポートしています。

新人研修は、4月の全体オリエンテーションから始まり看護基礎技術の再確認をし、5月以降毎月2回研修をしています。専門知識や技術を持つ認定看護師や看護部だけでなく他職種と連携しながら行っています。病院をあげて職員全体で新人を育てる、認め合い褒め合う職場づくりを目指しています。

2012/9/16・17
リレー・フォー・ライフ但馬に参加！



すずらんの会の横断幕を掲げリレーウォークする会員の皆さん。



当院宮野院長はじめスタッフも一緒にリレーウォーク。

がん啓発講演「知っておきたい乳がんの知識」を講演する水田医師。乳がんの知識とともにいかに早期発見が重要となるかをお伝えさせていただきました。



八鹿病院合唱団とその他スタッフによる合唱で、リレーウォークされる皆さんを応援。



同じ病気・障害を持つ患者さんやご家族が参加されている「患者会・教室」をご紹介します！

患者会・教室の 輪っか

「すずらんの会」

【お問い合わせ】 乳腺外科外来

すずらんの会は2008年11月に乳がんの体験者の方の「患者会を作りたい」という声によって発足した、セルフ・ヘルプ・グループです。セルフ・ヘルプ・グループとは、同じ悩みや障害を持つ人達によって作られた小グループのことで、参加される方の自主性・主体性が重視されています。

参加する人々が、仲間のサポートを受けながら自分が抱えている問題を自分自身で解決・受容していくことを目指しています。この会は、発足から4年が経過しました。役員を中心に活動計画が立案され、会員が互いに気持ちを分かち合うことができるよう工夫されています。

活動内容としては、年に1度の小旅行や学習会、それぞれの思いや気持ちの分かち合いの場であり毎月開催される「おしゃべりの会」などが行われています。また、今年はがん患者や家族、医療従事者などが一丸となって夜通しグラウンドを歩き続け、がんと闘う連帯感を育むチャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ in 但馬」にもすずらんの会として参加しました。

● 患者さんインタビュー ● 「すずらの会」に 参加していかがですか？

会の皆さんの元気な様子を見て自分も元気をもらい、前向きに明るく日々を過ごさせてもらっているように思います。

個人で病気の治療に頑張っていて、ちょっとした変化の症状に不安になったりしていました。会で情報を教えてもらったりすることで、前向きになれると思っています。

同じ病気を体験した者同士、和気あいあいと楽しく過ごせる時間がとても嬉しいです。

すずらの会に入り、皆さんと会える楽しみができました。

おしゃべり会に来て、不安や悩みなどを話し、みんなの話を聞くことで安心した気持ちになれます。そして、リフレッシュして帰れるので楽しみです。

術後間もない頃、いろいろと不安や心配事がありました。その頃この会に入り、同じ悩みを持つ人達と話すことで気が楽になりました。



化学療法などの影響により脱毛を体験された患者さんに贈るための「タオル帽子」作りを行いました。



東洋医学の考えを基礎に考案された「生命の貯蓄体操」を行いました。心と体のリラックスとバランスを整えます。



学習会「ホルモン療法について」の様子。乳がんと上手に付き合っていくためにはまず知ることが大事。医師・看護師からアドバイスをさせていただいています。

八鹿病院スタッフの声

共に過ごし会話するなかで、多くを学ばせていただいています

乳がん看護認定看護師 植木佳代子

すずらの会の活動には、看護師も毎回参加させていただいています。看護師が、一人の人間として体験者の方と一緒に過ごすことができることは、貴重な機会と考えています。そして、乳がんを体験された方と共に過ごし、共に会話することでどうすれば質の高い医療や看護ができるのかということを考える機会となり、多くのことを学ばせていただいています。



トピックス



8月9日 目指せ!ドクター! 高校生セミナー

医療に携わることを目標としている高校生を対象に養父市と八鹿病院高校生セミナーが開催されました。当院副院長の近藤医師と正垣耳鼻咽喉科クリニック正垣医師による現場医師からのアドバイスや交流会等が行われました。近い将来、一人でも多くの方が頼もしい医師となって但馬の医療を支えてくださることを楽しみにしています。

8月24日 第5回総合診療夏季セミナー inTajima

総合診療・家庭医療・地域医療に興味を持つ医学生等を対象とした、第5回総合診療夏季セミナーが行われました。当院での実習では8名の医学生の皆さんが参加され、「望まれる地域医療とは」「神経難病に対するチーム医療について」の2つのテーマに添って、当院ならではの医療を知っていただきました。



10月6日 大災害を想定した災害訓練を実施



院内の一室を災害現場と見立て、ムラージュという模擬外傷のメイクをした患者役を、駆けつけた消防隊員がトリアージし搬送しました。受け入れ時に玄関で、再度医師がトリアージを行い、重症度と緊急性を分別して治療を行いました。多くの職員が参加し、充実した訓練となりました。



医師異動のお知らせ

【新任医師】

平成24年10月1日付

～よろしくお願ひします～



【歯科口腔外科】

かすや ひろし
加須屋 浩

【退任医師】

平成24年9月30日付

～お世話になりありがとうございました～

【歯科口腔外科】谷尾 俊輔

発行

公立八鹿病院 総務課

〒667-8555 兵庫県養父市八鹿町八鹿 1878 番地 1 TEL. 079-662-5555 (代) <http://www.hosp.yoka.hyogo.jp>

